

令和3年8月10日

各位

公益社団法人北海道観光振興機構
会長 小磯 修 二〈公印省略〉

令和3年度 広域連携 DMO としてのデジタルマーケティング事業
北海道観光公式サイト「Good Day 北海道」(日本語)の運用及びサイト集客強化事業に係る
企画提案の公募について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当機構の事業推進に格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記事業に関する委託業務について、次のとおり企画提案を募集することとしましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 事業名

『令和3年度北海道観光公式サイト「GoodDay 北海道」(日本語)の運用及びサイト集客強化事業』

2. 委託内容

別紙「企画提案指示書(業務処理要領)」をご参照ください。

3. 参加表明

企画提案書を提出する意向がある場合は、別紙「参加表明書」をメールでご提出ください。

なお、コンソーシアムの場合は、代表となる会社・団体が提出してください。

4. 添付書類

- (1) 企画提案指示書
- (2) コンソーシアム協定書
- (3) 参加表明書

5. 事業説明会について

本事業に関する事業説明会は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催しません。事業内容に関する質問は、本日より3営業日後の15:00までメールで個別相談を受け付けます。回答については全体を取りまとめの上、参加表明した事業者に対し、参加表明期限日以降に速やかに送信します。

総務部 担当/林

TEL:011-231-0941

Email: m_hayashi@visithkd.or.jp

令和3年度 広域連携 DMOとしてのデジタルマーケティング事業
北海道観光公式サイト「Good Day 北海道」(日本語)の運用及びサイト集客強化事業
委託業務企画提案指示書

1. 事業目的

新型コロナウイルス収束後の旅行意向は、約 7 割が意欲的。国内旅行では 69.8%が「行きたい」と回答。一方で、海外旅行では「当面は行きたくない」が 41.6%と、国内旅行の需要拡大、新規需要獲得の契機である。

また海外インバウンド需要が見込めない中、国や自治体の喚起施策も見据え国内旅行の地域間競争が起きるとともに、新型コロナウイルスの感染予防や分散型旅行など密を避けながら楽しむ安心・安全な新しい旅のカたちへと変化している。コロナ禍における次の旅行先としての北海道旅行のマインドシェアの維持、拡大する国内旅行需要の喚起・獲得のため、本事業は、長引く新型コロナウイルスの影響によって変化したカスタマーの価値観や旅行ニーズを捉え、北海道観光公式サイト「GoodDay 北海道」(日本語)を根幹とした Web 広告、SNS 等を活用したサイト集客の強化、コンテンツの拡充・更新、SEO 対策の実施し、北海道観光の魅力発信強化を図り、北海道へ興味・関心の高いターゲットへの効果的な情報発信を展開。旅行検討層、顕在見込み客、北海道ファン層との関係強化、道内外の観光誘客促進を図ることを目的とする。

2. 業務実施主体及び事業実施方法

公益社団法人北海道観光振興機構(以下「観光機構」という)が主体となり民間企業等に委託して実施する。

3. 企画提案応募条件等

単体企業等又は複数企業等による連合体(以下「コンソーシアム」という。)とし、単体企業等及コンソーシアムの構成員は、次のいずれにも該当すること

- (1) 道内に本・支店等を有する次のいずれかの者であること。ただし、コンソーシアムの場合、構成員のうち1者以上が道内に本・支店等を有する場合は可とする。(なお、コンソーシアムの場合には、別紙協定書を提出する事)
 - ① 民間企業
 - ② 特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)に基づく特定非営利活動法人
 - ③ その他の法人、又は法人以外の団体等
- (2) コンソーシアムの構成員が単独企業又は他のコンソーシアムの構成員として、この企画提案に参加する者でないこと
- (3) 提案事項を的確に実施し、成果物の品質管理能力を有する者であること
- (4) 観光機構が必要と判断する際に、観光機構にて業務打合せを行える人員・業務実施体制を取ることができる者であること
- (5) 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員をいう。)又は暴力団関係事業者(暴力団員が実質的に経営を支配する事業者その他同条第2号に規定する暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する事業者をいう。)に該当しない者であること

4. 契約方法 公募型プロポーザル方式(価格考慮型)による随意契約

*企画提案内容に加えて価格についても審査基準の要素とする

5. 予算上限額30,000,000円(消費税及び地方消費税相当額 10%を含む)

新型コロナウイルスの影響への当機構の対応によっては、委託業務の内容及び予算上限額について、変更する場
合又は事業が中止になる場合がある。以上の場合は、当機構と提案者の双方の協議により提案内容の変更また
は契約を行わないことがある。

6. スケジュール

業務スケジュール

8月10日(火)	企画提案募集公示、企画提案指示書配布
8月18日(水)	企画提案参加表明 15:00 締切
8月27日(金)	企画提案書の提出期限 15:00 締切
8月末	企画提案の審査、委託事業者決定、
8月下旬	契約締結・業務開始

7. 委託期間

業務委託期間 令和3年8月～令和4年3月15日

日本語サイトは、今年度別事業にてリニューアルを予定しており、令和4年3月完成・公開の予定。

リニューアルサイト公開後、日本語サイトは終了とする。

令和4年3月15日(火)までに全ての業務を完了すること(報告書作成業務含む)

8. 業務委託内容(企画提案事項)

(1) 本事業対象ウェブサイト

「GoodDay 北海道」日本語:<https://www.visit-hokkaido.jp/>

(2) 実施方針

北海道観光公式ウェブサイト GoodDay 北海道(日本語)の集客強化

① PV・UU 数の向上、サイト誘導

・広告接触ユーザー、サイト訪問ユーザーの属性、SNS 配信コンテンツのインサイト分析に基づく Web 広
告等を活用したプロモーション

・SNS 媒体の発信力を活用した機構公式 SNS フォロワー数の拡大と記事拡散

・外部サイト連携等、デジタル広告以外での日本語サイトの集客強化施策

② SEO 対策、回遊性向上、導線強化

・検索からの流入促進を図るため、本サイトの検索順位向上に資する SEO 対策の実施

・検索トレンドや関心ワード等によるニーズ分析に基づいた特集記事の配信

(安心・安全な旅、世界文化遺産 縄文文化の訴求等)

・サイト内の回遊性向上を図るため、タグや内部リンク等の見直し・改善等の SEO 対策と導線強化

③ リピート率の向上

・メルマガやSNS等を活用したサイト再訪率の向上。

(3) 業務の概要(月は作業のイメージ)

(9月)記事追加方針、SEO 対策・SEM 施策の決定 SEO 対策・SEM 施策の決定

(9~3月) ①PV・UU 数の向上、サイト誘導

・アドネットワーク広告、SNS 広告、SNS 連携等によるサイト集客・記事拡散

- ・Instagram「みんなで作る#ひみつの絶景北海道フォトストックキャンペーン」の実施
- ・外部サイトとの連携

② SEO 対策、回遊性向上、導線強化

- ・ サイト内のタグ・タイトルの見直し、回遊性向上・導線強化

【実施期間：9～11月。実装・モニタリングを実施し、サイト誘客強化のPDCAを回すこと】

- ・特集記事の更新

③ リピート率向上施策の実施

④API 連携

⑤ サイト保守・メンテナンス、サイトのモニタリング・効果測定

⑥ 日本語サイトのリニューアルに伴うデータ移管等の対応

(3月) ・日本語サイトリニューアルにあわせてサイト公開終了

- ・アクセスログ分析・効果測定、業務実績報告

(4) 企画提案事項

① サイト集客施策及び SNS フォロワー促進施策の企画実施

Web・SNS 媒体等の発信力と拡散力を活用し、広告等の web プロモーション、外部サイトとの連携等を実施し、特集記事などの記事拡散を行い北海道の魅力を効果的に訴求し、サイト集客強化を図ること。また、SNS によるフォロワー促進施策を企画し実施し、SNSを通じたユーザーとの関係性強化・北海道ファン化を図ること。

対象サイト ウェブサイト「GoodDay 北海道」(日本語)

対象 SNS 観光機構公式 SNS「Good Day 北海道」(日本語) Facebook、Instagram

(ア) Web 広告等を活用したサイト集客

ウェブサイトの認知度向上、サイトとしての情報発信力を強め利用者・閲覧数の増加を図るため、広告接触ユーザー、サイト訪問ユーザーの属性、SNS 配信コンテンツのインサイト分析に基づくアドネットワーク広告 (GDN/YDN 等)、SNS (FB/IG) 広告等を活用した集客施策、外部サイトとの連携を実施し、サイトへの誘導およびサイトへの集客、特集記事などの記事拡散を実施すること。

▶対象エリア

道外：全国。特に首都圏・関西圏をはじめ、北海道へ直行便が就航しているエリアを重点エリアとする。

北海道：北海道全域

▶広告媒体

GoodDay 北海道のサイトや記事が可能な限り多くの人々の目に触れるよう、Web 広告、SNS 広告等各種広告媒体を組み合わせた効果的なプロモーションとし、ターゲット・時期や媒体などを提案とすること。

▶実施期間：令和 3 年 9 月～令和 4 年 2 月

短期(9月～10月)及び通期(9～2月)でプロモーションを検討し実施すること。

▶広告内容

広告内容は、観光機構と協議の上決定することとし、実施時期・ターゲットにあわせた内容で実施すること。

また、新型コロナウイルスの感染状況によって、おうちでも楽しめる北海道情報など広告内容を適宜変更すること。

とし、コロナ収束後の次なる旅の候補地として北海道旅行のマインドシェアを高めること。

- ・デジタル広告以外に外部サイトとの連携等の日本語サイトの集客強化に資する提案があれば記載すること
- ・その他、無料パブリシティ等による GoodDay 北海道のサイトを周知する提案をすること。

(イ) 観光機構公式 SNS (FB/IG) のを活用したフォロワー数促進施策の実施

SNS の発信力と拡散力を活用し、SNS によるフォロワー促進施策を企画し、実施すること。

- ・Instagram キャンペーン「みんなで作る#ひみつの絶景北海道フォトストックキャンペーン」の開催・キャンペーン投稿促進広告 (Instagram 投稿を通じたユーザーとの関係性強化・北海道ファン化)
- Instagram キャンペーン実施に係る企画、ページの改修、景品等の手配は委託事業者が実施すること。

▶実施期間:令和3年9月~令和4年2月

▶実施回数:夏・秋・冬の季節毎に写真投稿を促進できるよう実施すること。

・上記のほか、SNS (FB/IG) のフォロワー獲得に資する施策について提案すること。

・令和3年度の新規登録者数 (FB/IG 合計) の目標は 10,000 人とすること。フォロワー集客目標のシュミレーションを提示すること。

上記(ア)、(イ)のサイト集客・SNSのフォロワー促進施策予算は合計1,400万円(税込)以上をとする。

② SEO 対策 (検索順位・サイト内回遊性・サイト表示速度)

本サイトの検索順位、サイト内回遊性を上げるため、SEOコンサルを基に効果の大きな施策を最優先で取り組む SEO 対策 (コンテンツ SEO、テクニカル SEO) について提案・実施すること。

- ・検索からのサイト流入数増加:本サイトの検索順位向上施策を提案すること。
- ・サイト訪問者のサイト内回遊性:サイト内の回遊性向上に資する施策 (導線の改善を含む) を提案すること。
- ・サイトの表示速度の改善は必須とする。

▶実施期間:9~11月。9~11月にSEO対策を実施し、実施内容のモニタリングを行い、サイト誘客強化の PDCA を回すこと。

▶サイト回遊性を高めるために必要なナビゲーションの改修等に係るシステム開発については、200万円(税込)を上限とする。

③ 「Good Day 北海道」における情報発信 (記事制作・コンテンツ拡充・改修)

委託事業者が記事掲載かかる情報収集、内容確認、画像収集、記事作成、翻訳を実施すること。制作にあたっては、アクセス解析や閲覧状況等を基に、観光機構と協議の上、記事更新等を実施することとし、観光機構が指定するコンテンツがある場合は、優先すること。

(ア) 安心・安全な北海道の旅の訴求ページ (日本語) の作成・更新

新型コロナウイルスの感染予防や分散型旅行など密を避けながら楽しむ安心・安全な北海道の新しい旅のカタチを訴求するページを作成・更新すること。

「Go To トラベル」をはじめ、道内各地の観光支援策再開時には、当該ページへの組み込みを行うこと。

▶ページ作成:令和3年9月公開

(イ) 特集記事の作成

該当特集コーナー<https://www.visit-hokkaido.jp/korezo/>

▶情報発信期間:令和3年9月～令和4年2月

▶情報発信内容と頻度:頻度:月2回更新×6か月 合計12本

発信内容:「食(グルメやお酒など)」、「写真」、「アウトドア(AT)」、「北海道・北東北縄文遺跡群」、「ひとり旅」を最低1回は組み込むこと。

・取材や情報配信等の事業スケジュールを示すこと。

(ウ) その他、ユーザーニーズやSEO対策、サイト内回遊性向上の視点から、追加すべきコンテンツがあれば、追加理由とあわせて提案すること

④ API 連携

APIを活用し下記情報について、API連携を実施すること。

観光スポット、イベント情報のAPI連携先

ぐうたび北海道 令和2年度掲載件数 1635件

※API連携は有料。経費を見積り含めること。金額については別途機構に確認すること。

⑤ 「Good Day 北海道」の保守・メンテナンス

⑥ 効果測定および分析・運用改善業務(PDCA)

- ・ デジタルプロモーションの知識と経験を豊富に持つ者が、本事業の発信内容を注視し、コンテンツの追加ならびに各施策の実施前後で比較した各指標の推移(サイト全体のPV/UU、閲覧タイミングの傾向、直帰率・離脱率、平均表示スピード、平均ページ/セッション等)をモニタリングし、市場の嗜好・動向を把握。情報発信や改善必要箇所については随時対応すること。
- ・ 広告効果測定および分析を行い報告すること。

⑦ 日本語サイトリニューアルに係る既存データの移管等の対応

当機構では、別事業(日本語サイトリニューアル事業)でサイトのリニューアルを予定している。(令和4年3月公開予定)については、現在のGoodDay北海道のデータ既存データの活用も予定しているため、日本語サイトリニューアル事業の受託事業者、観光機構と連携し、データの引き渡しができるようにすること。

⑧ その他施策

- ・ その他事業目的達成に資するアイデア・独自提案があれば記載すること

(4) KPI

事業効果や広告換算等、当該事業の有効性を測る事業指標または成果指標を設定し、それぞれの目標値を示すこと

[アウトプット]

- ① サイト集客施策およびサイト内回遊性向上施策の企画実施
 - ・Web 広告等を活用したサイト集客
 - ・観光機構公式 SNS (FB/IG) のを活用したフォロワー数促進施策の実施
 - ▶Instagram キャンペーン「みんなで作る#ひみつの絶景北海道フォトストックキャンペーン」の開催・キャンペーン投稿促進広告
 - ▶SNS (FB/IG) のフォロワー獲得に資する施策の企画実施
- ② SEO 対策の実施 (コンテンツSEO/テクニカルSEO/サイト内回遊性の向上)
- ③ Good Day 北海道」における情報発信 (記事制作・コンテンツ拡充)
 - ・安心・安全な北海道の旅の訴求ページ (日本語) の作成・更新
 - ・特集記事の作成 (月2回更新×6か月 合計12本)
- ④ API 連携
- ⑤ 「Good Day 北海道」の保守・メンテナンス
- ⑥ 効果測定および分析・運用改善業務 (PDCA)
- ⑦ 日本語サイトリニューアルに係る既存データの移管等の対応
- ⑧ その他独自施策を含む施策の実施

[アウトカム]

日本語サイトの総ページビュー: 650万PV(※)

日本語サイトのユニークユーザー数: 事業者が目標設定をすること

(集計期間: 令和3年4月1日~令和4年3月31日)

※令和4年3月31日時点までのページビュー数、UU数を目標数字として提示すること

※令和元年度からの3か年のPV数、UU数実績については別紙を参照すること

(5) 事業実施内容の効果測定、完了報告書の作成

事業の取り組み内容に応じた成果 (ウェブサイト PV 数、広告効果測定、メディア露出、広告費用換算等) を具体的な数値で整理、検証し、成果、課題、提言等により報告書を作成すること

(6) 成果品及び提出物

- ① 追加コンテンツ: 当機構サーバーへ登録
- ② 分析業務: 分析レポート ※Tableau に格納できるデータもあわせて納品すること
- ③ 完了報告書: 紙媒体 (A4 版、縦指定) 5 部、電子媒体 1 部とする

9. 参加表明

企画提案を提出する意思がある場合は、期日までに参加表明すること。なお、期限までに参加表明が無い場合は、企画提案書を受理しないものとする。

- (1) 表明期限: 令和3年8月18日 (水) 15:00
- (2) 表明先: 下記、問い合わせ先に提出
- (3) 表明方法: 別紙書式を E メールで添付送信してください

10. 企画提案書及び見積依頼内容

企画提案書作成にあたっては、提案の考え方のほか、下記の項目について記載すること。

(1) これまでの事業実績

過去3年以内の本事業と同様のウェブサイト事業の受託実績があれば記載すること。なお、観光機構発注の実績については記載を要しない。

(2) 業務実施体制

当該業務実施体制について、業務担当者をはじめとする企画提案者の体制のほか、協力会社等を明記し、具体的に記載すること。なお、企画提案者の業務担当者名については、提出する企画提案書の 1 部のみに記載し、残りについては、「A」、「B」などといった表現を用いて記載すること。

(3) 業務スケジュール

委託業務開始から終了までのスケジュールを具体的に記載すること。

(4) 見積書 費用項目の明細を記載すること(概算見積とし企画提案時は捺印不要)

- ① 直接人件費:業務処理に直接必要とする経費
- ② 経常的直接経費:消耗品費、通信運搬費、旅費(業務処理に従事する者の交通費・宿泊費等)
- ③ 特別直接経費:印刷製本費(調査票や報告書の印刷等の外注分)
- ④ システム保守メンテナンス費(既存コンテンツの修正含む):保守メンテナンス期間:7か月
- ⑤ その他:諸経費、技術経費等

11. 企画提案書作成上の留意点

(1) 様式の規格はA4版縦とし両面50ページ以内とする。各ページに必ずノブルを入れること

(全体的なイメージを伝えるうえで数ページA3用紙を折り込むことは可)

(2) 企画提案は1社1提案とする

例:A案・B案と複数記載し、事業実施主体側に選択を委ねている提案は、審査対象外とする

(3) 企画提案書の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする

(4) 提出された企画提案書は返却しない

12. 企画提案書の提出

(1) 提出部数 6部(事業者名、業務従事者氏名を記載したもの1部、記載しないもの5部)

(2) 提出場所 下記、問い合わせ先に提出

(3) 提出期限 令和3年8月27日(金) 15:00

(4) 提出方法 提出場所への持参または郵送

※ 郵送の場合、提出期限までに到着しないものは受理しない

※ 提出の企画提案書は別途データでも電子メール等により提出すること。なお電子データのみでの提出は認めない(電子データで提出する企画提案書は事業者名、氏名等を記載しないもの)

13. 企画提案に関する審査

(1) 参加表明期日までに参加表明を行い、且つ提出期日までに必要部数の企画提案書を提出した者を審査対象とする

- (2) 審査対象者が4者以上の場合は予め書面審査を行い、上位3者を最終的な審査対象者とする
- (3) 審査は審査対象者によるプレゼンテーションを基に実施する
- (4) プレゼンテーションの日時及び場所は、別途審査対象者に通知する
- (5) プレゼンテーションに参加できない場合は、棄権とみなす
- (6) プレゼンテーション時の追加資料の配布・表示については認めない
- (7) プレゼンテーション用に機器類を使用する場合は、事前に申し出の上で審査対象者が準備・設置するものとする。なお、審査の進行に影響を及ぼすと判断されるものについては使用を認めない
- (8) プレゼンテーションへの参加は3名を上限とする

14. 企画提案の評価基準

企画提案は、次の項目を審査し総合的に判断する。

(1) 企画提案の目的適合性

- ① 事業内容を十分理解し、企画提案指示書に沿った提案内容となっているか
- ② 事業遂行に必要な人的ネットワークや協力体制、リソースが確保されているか
- ③ 適切な予算配分によりアウトプットが担保され、アウトカムが期待できる事業内容となっているか

(2) 実現性

提案内容に具体性があり、且つ全体の計画が実現可能なものとなっているか

(3) 業務遂行能力

北海道の地理・気候・観光事情や訪日外国人旅行市場やカスタマーニーズ等の実情に精通した実施体制が確保され、遂行能力があると判断できるか

(4) 経済合理性

費用対効果が高い提案となっているか

15. 業務上の留意事項

- (1) 業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本として、観光機構と受託事業者が協議して決定する
- (2) 観光機構は受託事業者に対して、観光機構がこれまで取りまとめた資料等について可能な範囲で提供する
- (3) 著作権、肖像権等に関して、権利者の許諾が必要な場合は、受託事業者において必要な権利処理を行うこと
- (4) 作成した北海道観光データ等に関して、観光機構の web サイトやイベント等での二次使用を認めることとし、見積金額にはその二次使用料、データ納品費を含めること
- (5) 再委託の予定(下記②の業務に限る)がある場合は、再委託先の事業者名、住所、金額、再委託する業務範囲ならびに再委託予定金額を見積書に明記すること。
- (6) 再委託を行う際は、予め当機構の承諾を得る必要がある。なお、本事業においては委託料総額の50%を超える再委託については認めない。

※当機構の承諾を要する再委託の範囲は、次の区分における②を言う。

- ① 「業務の主たる部分」(業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断等)・・・再委託を行うことはできない
- ② 「業務の主たる部分」及び「軽微な業務」を除く業務・・・再委託に際し、当機構の承諾を要する
- ③ 「軽微な業務」(コピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、翻訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等)・・・再委託に際し、当機構の承諾を要さない

16. その他

- (1) 提出された企画提案書は、本事業の受託事業者選定以外の目的には提出者に無断で使用しない
- (2) 公正性、透明性、客観性を期するため、企画提案書は公表する場合がある。なお、公表にあたっては事前に提案者に通知するものとする
- (3) 手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本円とする
- (4) 受託事業者選定後の契約行為に関し発生する費用は、受託事業者において負担するものとする
- (5) 受託事業者は、契約前に地域への説明会を実施する際は、その発生する費用は、受託事業者において負担するものとする

17. 問合せ先

〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 緑苑ビル1階

公益社団法人 北海道観光振興機構 総務部(担当/林)

TEL:011-231-0941 Email:m_hayashi@visithkd.or.jp

コンソーシアム協定書

(目的)

第1条 本協定は、コンソーシアムを設立して、公益社団法人北海道観光振興機構が発注する「令和3年度 北海道観光公式サイト「Good Day北海道」(日本語)の運用及びサイト集客強化事業」(以下「本業務」という。)を効率的に営み、優れた成果を達成することを目的とする。

(名称)

第2条 本協定に基づき設立するコンソーシアムは、「令和3年度 北海道観光公式サイト「Good Day北海道」(日本語)の運用及びサイト集客強化事業」受託コンソーシアム〇〇(以下、「本コンソーシアム」という。)と称する。

(構成員の住所及び名称)

第3条 本コンソーシアムの構成員は、次のとおりとする。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

(幹事企業及び代表者)

第4条 本コンソーシアムの幹事企業は、_____とする。

2 本コンソーシアムの幹事企業を本コンソーシアムの代表者とする。

(代表者の権限)

第5条 本コンソーシアムの代表者は、本業務の執行に関し、本コンソーシアムを代表して発注者と折衝する権限並びに本コンソーシアムの名義をもって委託料の請求、受領及び本コンソーシアムに属する財産を管理する権限を有するものとする。

(構成員の連帯責任)

第6条 本コンソーシアムは、それぞれの分担に係る進捗を図り、本業務の執行に関して連帯して責任を負うものとする。

(分担受託額)

第7条 各構成員の業務の分担は、次のとおりとする。ただし、分担業務の一部につき発注者と契約内容の変更があったときは、それに従って分担の変更があるものとする。

2 前項に規定する分担受託額については、運営委員会が定め発注者に通知する。発注者との間で契約内容が変更されたときも同様とする。

(運営委員会)

第8条 本コンソーシアムは、構成員全員をもって運営委員会を設け、本業務の運営にあたるものとする。

(業務処理責任者)

第9条 本コンソーシアムはその構成員の中から、本業務の処理に関する業務処理責任者を選出し、本業務に係わる指揮監督権を一任する。

(業務担当責任者及び業務従事者)

第10条 本コンソーシアムの各構成員の代表者は、業務処理責任者の下で本業務に従事する業務担当責任者及び業務従事者を指名する。

(取引金融機関)

第 1 1 条 本コンソーシアムの取引金融機関は、_____とし、本コンソーシアムの代表者の名義により設けられた別口預金口座によって取引するものとする。

(構成員の個別責任)

第 1 2 条 本コンソーシアムの構成員がその分担に係る本業務の執行に関し、当該構成員の責めに帰すべき事由により発注者又は第三者に損害を与えた場合は、当該構成員がこれを負担するものとする。

(権利義務の譲渡の制限)

第 1 3 条 この協定書に基づく権利義務は、他人に譲渡することができない。

(業務途中における構成員の脱退)

第 1 4 条 構成員は、本コンソーシアムが業務を完了する日までは脱退することができない。

(業務途中における構成員の破産又は解散に対する措置)

第 1 5 条 構成員のうちいずれかが業務途中において破産又は解散した場合には、残存構成員が共同連帯して当該構成員の分担業務を完了するものとする。

(解散後のかし担保責任)

第 1 6 条 本コンソーシアムが解散した後においても、本業務につき瑕疵があったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

(会計帳簿等の保存)

第 1 7 条 本業務に係る会計帳簿及び雇用関係書類等の関係書類は本業務が完了した日の属する年度の終了後 5 年間、_____が保存するものとする。

(協定書に定めのない事項)

第 1 8 条 この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。

(管轄裁判所)

第 1 9 条 本協定の紛争については、札幌地方裁判所を第一審の管轄裁判所とする。

代表者幹事企業 _____ 外 社は、上記のとおり本コンソーシアム協定を締結したので、その証として本正本 通及び副本 1 通を作成し、各構成員が記名押印の上、正本については構成員が各 1 通を保有し、副本については委託契約書に添えて発注者に提出する。

令和 年 月 日

代表者 (所在地)
(名 称)
(代表者)

Ⓜ

構成員 (所在地)
(名 称)
(代表者)

Ⓜ

構成員 (所在地)
(名 称)
(代表者)

Ⓜ

参加表明書

広域連携 DMO としてのデジタルマーケティング事業

「令和3年度 北海道観光公式サイト「Good Day 北海道」(日本語)の運用及びサイト集客強化事業」

委託に係る企画提案の公募について

企画提案の参加を表明します

会社名	
部署	
氏名	
TEL	
Email	

送信先

公益社団法人 北海道観光振興機構

総務部(担当:林)

Email:m_hayashi@visithkd.or.jp

「Good Day 北海道」(日本語)のアクセス解析

GoodDay北海道

GoodDay北海道は北海道の魅力発信と北海道旅行のサポートを目指して運営する観光のポータルサイトです。

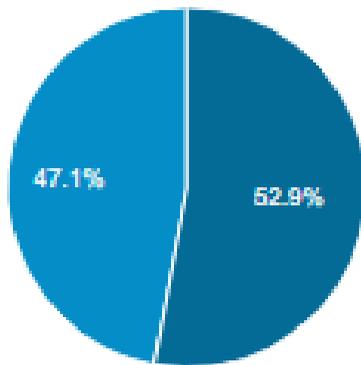
ページビュー460万(日本語サイトのみ)(2019年度データ)

ページビュー384万(日本語サイトのみ)(2020年度データ)

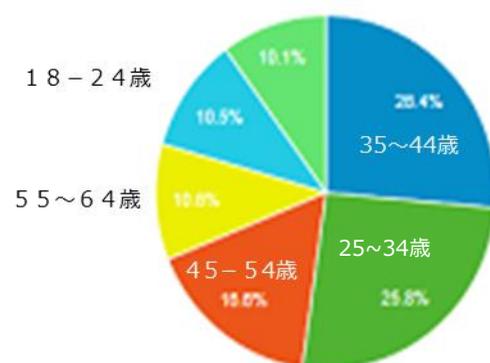
ページビュー184万(日本語サイトのみ)(2021年度4～7月データ)

2020年度分析項目

ユーザー属性
(性別・年齢・地域)

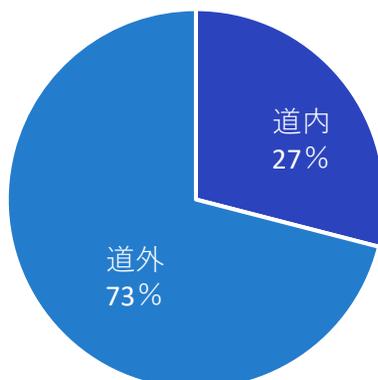


■ male ■ female



ユーザーの男女比はほぼ半数
25～44歳で50%以上。18～24歳の若年層が10%

■ 閲覧者居住地ブロック別内訳

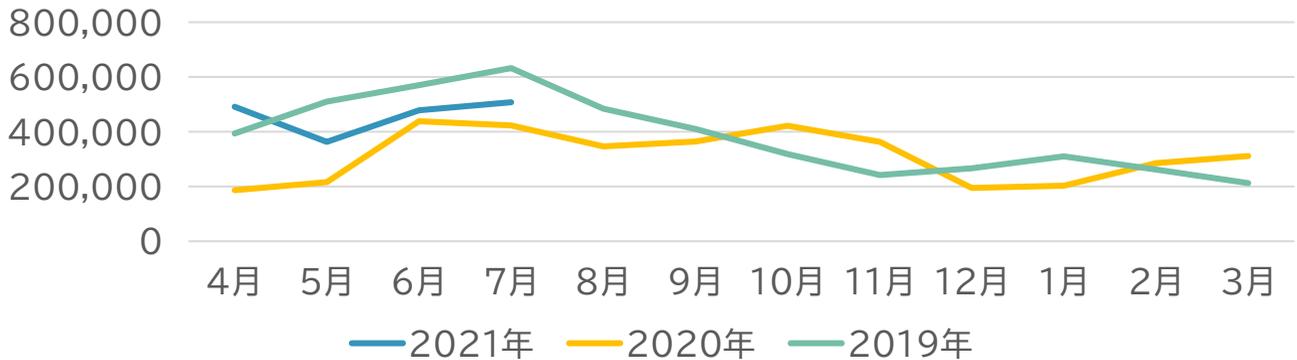


居住地	2020年度 ブロック合計のシェア 率	2019年度 ブロック合計のシェア 率
北海道	27.0%	28.6%
東北	2.2%	2.3%
関東	41.9%	41.3%
中部	7.6%	7.4%
関西	15.9%	15.1%
中国	1.5%	1.6%
四国	0.7%	0.9%
九州	2.7%	2.6%
沖縄	0.4%	0.3%

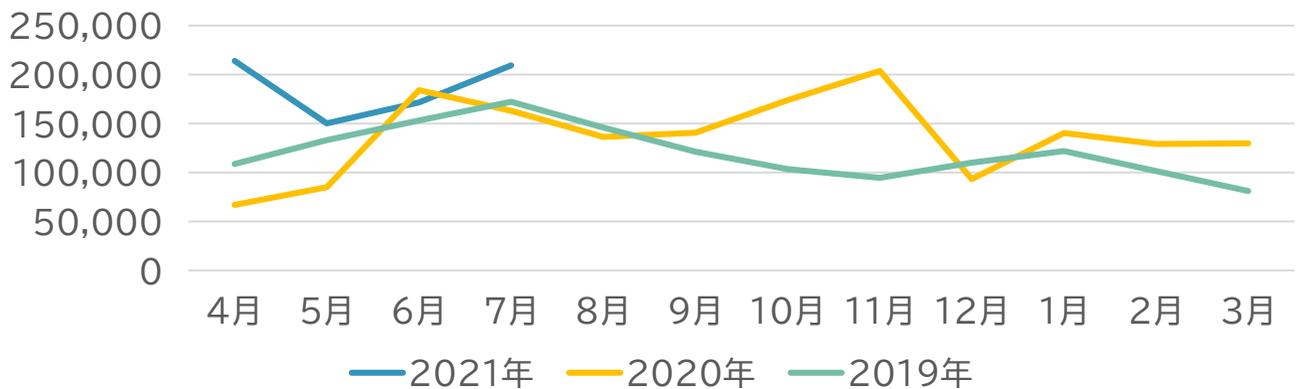
「Good Day 北海道」のアクセス解析

2020年度サイトPV数 対前年比82%

ページビュー月別変動



UU月別変動



道内外セッションの比率



2020年度道外・道内月別セッション数の推移

